

所属名	事務事業名	ページ番号
歴史・文化課	世界遺産活用推進事業	2
歴史・文化課	歴史まちづくり推進事業	3
歴史・文化課	旧枝梅酒造管理運営経費	4
歴史・文化課	柳町思案橋広場整備事業	5
歴史・文化課	歴史的風致維持向上計画策定経費	6
歴史・文化課	佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館管理運営事業	7
歴史・文化課	佐野常民記念館展示設備改修事業	8
歴史・文化課	自主文化事業費補助金	9
歴史・文化課	文化会館管理運営事業	10
歴史・文化課	文化会館施設改修事業	11
歴史・文化課	SAGAサンライズパーク関連文化会館整備事業	12
歴史・文化課	東与賀文化ホール管理運営事業	13
歴史・文化課	東与賀文化ホール改修事業	14
歴史・文化課	山口亮一旧宅維持管理事業	15
歴史・文化課	かわそえ佐賀田園の郷ギャラリー管理運営事業	16
歴史・文化課	文化連盟補助事業	17
歴史・文化課	市民芸術祭開催事業	18
歴史・文化課	文化芸術活動支援事業	19

令和4年度 事務事業進捗報告シート

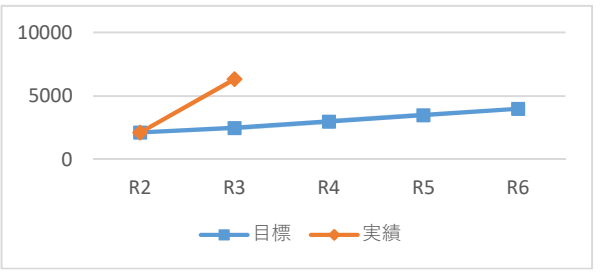
事務事業名	世界遺産活用推進事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	歴史・文化課 歴史資産活用係	担当課長名	小林 茂子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

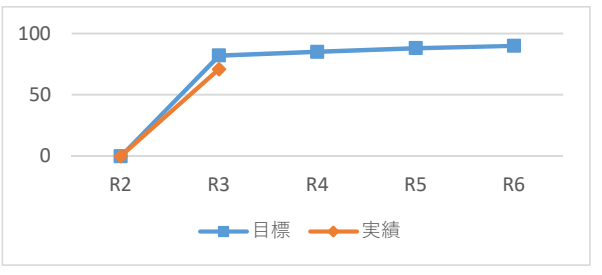
事業概要・目的	幕末佐賀藩の近代化産業遺産である国指定史跡「三重津海軍所跡」は、平成27年に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産のひとつとして世界遺産に登録された。この「三重津海軍所跡」の活用のための事業を行う。				
事業の対象者	佐賀市民、歴史や世界遺産に興味のある人				
令和3年度主な活動実績	「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会への参画／明治日本の産業革命遺産及び三重津海軍所跡に関する市民啓発・教育活動（公民館連携型みえつ講座の開催【6館と連携、計18回】、佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館リニューアルオープン関連企画の実施【オープニングセレモニー、企画展】、広報活動）／来訪者対策（安全確保のための警備員配置等）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	14,203	23,522			
うち佐賀市の負担額	11,136	16,555			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
啓発事業参加者数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	
2,137	2,500	3,000	3,500	4,000	6,333	



成果指標②						単位
来訪者満足度						%
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R3 実績	
-	82	85	88	90	71	



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館のオープニングセレモニーや記念企画展の開催、その他広報活動の実施等により、啓発事業参加者数は目標数値を大幅に超えることができた。来訪者満足度調査においては、目標を超えてはいないが、不満と回答したのは全体の1%のみであった。

成果目標達成に向けた対応策等

令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、積極的に広報活動や市民向け講座、啓発イベント等の啓発事業を実施する。また、来訪者の満足度向上のため、アンケート調査で得られた意見を反映した館内案内、ガイドの育成及び啓発イベントの実施に努める。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	歴史まちづくり推進事業	事業期間	平成 24 ~ 年度
担当部署・係名	歴史・文化課 政策係	担当課長名	小林 茂子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	・平成23年度に策定した「佐賀市歴史的風致維持向上計画」の確実な推進のため進行管理を行い、地域固有の歴史資産、文化遺産を活かしたまちづくりを推進し、魅力ある地域社会の実現を図る。 ・上記の実現のため、歴史まちづくり全般に関する調査、啓発、研究等を行う。				
事業の対象者	計画に記載した事業				
令和3年度主な活動実績	○「佐賀市歴史的風致維持向上計画」の進行管理及び第2期計画策定に関する協議 ①法定協議会の開催 3回（5/31（書面会議）、11/18、1/20） ②令和2年度進行管理・評価シートの公開 6月 ○「松原公園周辺における歴史と文化を活かしたまちづくり懇話会」の設置 ①懇話会の開催 2回（8/6、3/29）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	466	644			
うち佐賀市の負担額	466	644			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
計画どおりに進捗している事業数						事業
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
17	17 16	23	23	23		

成果指標②						単位
事業の進捗率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
80.5	80.5 80.5	100	100	100		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	佐賀市歴史まちづくり協議会を開催するなど、事業の進行管理を行ったことで適切に事業が実施された。



成果目標達成に向けた対応策等
令和3年度をもって第1期計画となる「佐賀市歴史的風致維持向上計画」の期間が終了するため、令和4年3月に2期計画を策定した。第2期計画においても事業が計画どおりに進むよう、進行管理を着実にやっていく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	旧枝梅酒造管理運営経費	事業期間	平成 30 ~ 年度
担当部署・係名	歴史・文化課 歴史資産活用係	担当課長名	小林 茂子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	長崎街道の歴史的景観である「ノコギリ型家並み」を形成する旧枝梅酒造施設を長崎街道西側エリアにおける歴史文化の拠点として活用し、地域の歴史的・文化的資産を活かしたまちづくりを推進するため、適切な管理運営を行う。				
事業の対象者	市民及び観光客				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・開館日数 307日 ・施設管理等業務委託（株式会社とっぺん） ・消防用設備等保守点検 2回（6/14、11/30） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	808	616			
うち佐賀市の負担額	354	136			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
年間利用者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4,700	5,000 6,220	5,250	5,600	5,900		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	旧枝梅酒造の管理運営事業が適切に実施され、年間利用者数が目標値を超えている。



成果目標達成に向けた対応策等
旧枝梅酒造施設は、平成30年11月に開館した施設である。引き続き、認知度の向上を図るため、広報等の取り組みを行っていく。

令和4年度 公共事業進捗報告シート

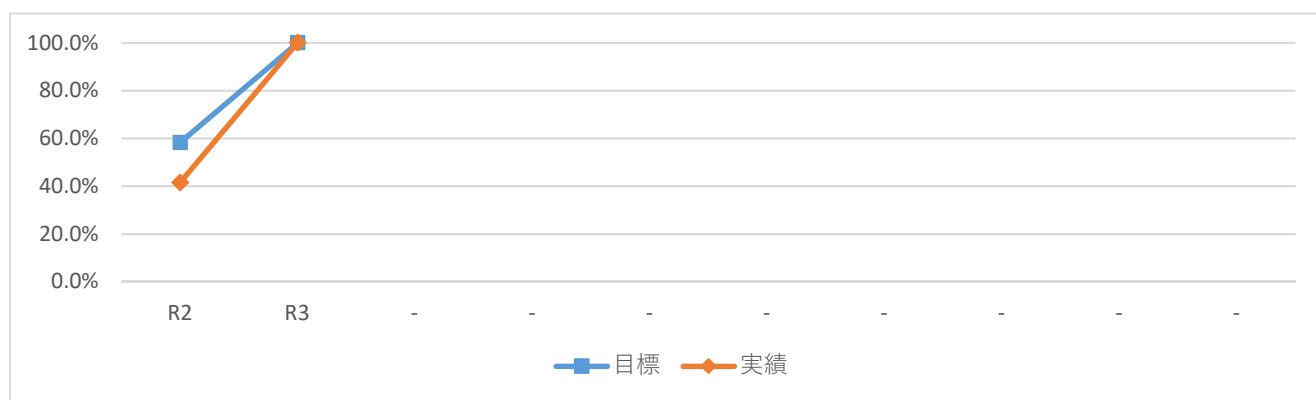
公共事業名	柳町思案橋広場整備事業		事業期間	令和 2 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	歴史・文化課 歴史資産活用係		担当課長名	小林 茂子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち		
	施策	28未来につながる文化の振興		
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用		

1 公共事業の基本情報

整備概要	長崎街道沿いの思案橋のたもとで発見された、江戸時代中期から明治期にかけての石垣護岸や雁木（石段）などの保存・活用を行うため、整備用地の取得（73.38㎡）、護岸工事及び広場整備を行う。				
整備の目的	江戸時代から続いた荷揚げ場遺構を、往時の風情が感じられる広場として整備することにより、歴史的・文化的資産を活かしたまちづくりを推進する。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	年度	年度	年度
工事請負費	1,822	12,274			
測量・監理等委託料	2,702				
用地購入費	2,500				
補償費	1,481				
その他事務費等	600	385			
計	9,105	12,659			
うち佐賀市の負担	2,104	4,954			
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					14,096
測量・監理等委託料					2,702
用地購入費					2,500
補償費					1,481
その他事務費等					985
計					21,764
うち佐賀市の負担					7,058

2 事業の進捗率

R2	目標 実績	R3	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	58.3% 41.5%	100.0% 100.0%								



令和4年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	歴史的風致維持向上計画策定経費	事業期間	令和 3 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	歴史・文化課 政策係	担当課長名	小林 茂子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	<p>平成24年3月に「佐賀市歴史的風致維持向上計画」を策定し、歴史民俗館の保存修理、長崎街道の再整備、案内板の整備などを行ってきた。現計画が令和3年度末で終了することから、引き続き佐賀市固有の歴史的風致の維持及び向上を図り、継続的に歴史まちづくりを推進するため、「佐賀市歴史的風致維持向上計画（第2期）」を策定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年3月 佐賀市歴史的風致維持向上計画（第2期） 策定 ・計画期間 令和4年4月1日から令和14年3月31日 				
事業の対象者	市民				
根拠法令等	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額		7,128			
うち佐賀市の負担額		7,128			

2 事業の活動実績

活動実績①					単位	
国との協議回数					回	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
	4					
活動実績②					単位	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>計画案について国との協議を4回実施し、第2期計画を策定、令和4年3月に国から計画の認定を受けた。今後は、計画の進捗評価や変更等の協議を行う「佐賀市歴史まちづくり協議会」を定期的で開催し、計画が円滑に進んで行くように努めていく。</p>
--

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館管理運営事業	事業期間	平成 16 ~ 令和 4 年度
担当部署・係名	歴史・文化課 歴史資産活用係	担当課長名	小林 茂子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	26自ら学ぶ生涯学習の推進	
	基本事業	生涯学習施設の整備・運営	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	新たにリニューアルした「佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館」において、日本赤十字社の創設者佐野常民の業績と世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産「三重津海軍所」跡を紹介する。また、各種講座を開催し、佐野常民の博愛の精神と三重津海軍所について認識を広めていく。				
事業の対象者	佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館利用者				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・開館日数 161日 ・体験学習開催回数 9回 34人 ・企画展示「田中久重と三重津海軍所 - 汽砲電機幾般ヲエス-」（令和4年2月11日～3月21日）等 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	16,049	21,529			
うち佐賀市の負担額	15,551	18,672			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位	
来館者数					人	
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
34,243	15,000 13,149	30,000	30,000	30,000		
成果指標②					単位	
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	開館日数の減少とカウント装置の仕様変更により目標を低く設定したが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやや目標を下回った。

成果目標達成に向けた対応策等

新型コロナウイルス感染症の影響が大きいですが、落ち着いてくればこれまで以上の来館者を取り込めることが期待できる。また、来館者に喜ばれる案内につとめるとともに、来館者が人に紹介したくなる施設となるように企画展や体験学習が充実するよう取り組んでいく。

令和4年度 公共事業進捗報告シート

公共事業名	佐野常民記念館展示設備改修事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	歴史・文化課 歴史資産活用係	担当課長名	小林 茂子
総合計画に おける位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	26自ら学ぶ生涯学習の推進	
	基本事業	生涯学習施設の整備・運営	

1 公共事業の基本情報

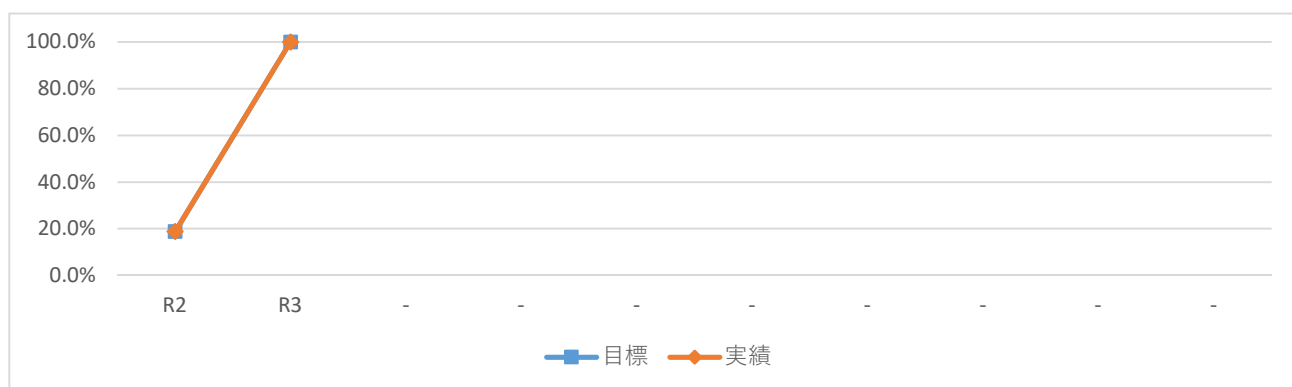
整備概要	佐野常民記念館のリニューアル工事に伴い、展示設備の改修をする。 【改修内容】 ・年表およびシアターの改修 ・赤十字コーナーの拡充整備 【改修面積】 佐野常民展示室 942.2㎡
整備の目的	佐野常民に係る展示内容の充実をはかり、その業績を広く理解してもらう。

事業費決算(単位 千円) ※職員人件費は含まない

区分	2年度	3年度	年度	年度	年度
工事請負費		52,921			
測量・監理等委託料	22,550				
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計	22,550	52,921			
うち佐賀市の負担	2,350	5,571			
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					52,921
測量・監理等委託料					22,550
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計					75,471
うち佐賀市の負担					7,921

2 事業の進捗率

R2	目標	R3	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標
	実績		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
	18.7%		100.0%							
	18.7%		100.0%							



令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	自主文化事業費補助金	事業期間	平成 2 ~ 年度
担当部署・係名	歴史・文化課 政策係	担当課長名	小林 茂子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	市民文化活動の創造	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民に文化芸術の鑑賞機会を提供すること、地域の文化芸術の振興を図ることを目的として、指定管理者である公益財団法人佐賀市文化振興財団が実施する「自主文化事業」に対し補助を行う。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	公益財団法人佐賀市文化振興財団が行う主催事業、ワークショップ、アウトリーチなどの自主文化事業に対する補助金の交付及び広報。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	10,000	10,000			
うち佐賀市の負担額	10,000	10,000			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
自主文化事業の入場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,280	15,000 5,564	15,000	15,000	15,000		

成果指標②						単位
市内で開催された文化芸術関連のイベントや活動に参加または自ら取り組んだ市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
27.1	54 32.8	54	54	54		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症への対応として、令和3年10月まで収容人数を50%に制限したことや、公演の中止等もあり、成果目標を達成できていない。



成果目標達成に向けた対応策等
自主文化事業は学校や公民館、児童館などでのアウトリーチ・文化体験をするワークショップも実施できたが、新型コロナウイルス感染症の影響で入場者の減少や、企画イベントの中止があった。新型コロナウイルス感染症への対策をとりつつ、公立文化施設だからこそ取り組むべき事業に継続的に挑戦していけるよう進めていきたい。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	文化会館管理運営事業	事業期間	平成 2 ～ 年度
担当部署・係名	歴史・文化課 政策係	担当課長名	小林 茂子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	文化施設の運営・整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	文化情報の発信拠点として、市民の文化活動の発展に貢献し、また、各種コンベンションの利用による広域的な人、物、情報の交流を図ることを目的として、佐賀市文化会館の管理運営を公益財団法人佐賀市文化振興財団に委託する。				
事業の対象者	市民				
令和3年度主な活動実績	施設の貸出、使用料の徴収等の管理運営を実施 公益財団法人佐賀市文化振興財団 第三者評価委員会を開催（令和3年7月15日、令和4年1月27日）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	185,509	168,827			
うち佐賀市の負担額	155,632	143,832			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
文化会館入場者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
101,666	400,000 173,804	400,000	400,000	400,000	

成果指標②					単位
市内で開催された文化芸術関連のイベントや活動に参加または自ら取り組んだ市民の割合					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
27.1	54 32.8	54	54	54	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症への対応として、令和3年10月まで収容人数を50%に制限したことや、公演の中止等もあり、成果目標を達成できていない。



成果目標達成に向けた対応策等
市としても文化振興財団の役割は文化振興事業における要であると考え、文化振興基本計画では取り組みにおける連携強化を掲げている。平成25年度から開催している市民芸術祭（市と一緒に文化振興財団が事務局を務めている）についても、財団が関わる事業が増える見込まれる。第三者評価委員会での「コロナ禍の中でのイベント開催は大変だと思うが、魅力ある企画を工夫してほしい。」等の意見を参考に、引き続き事業内容の見直しや効率化に取り組んでいきたい。

令和4年度 公共事業進捗報告シート

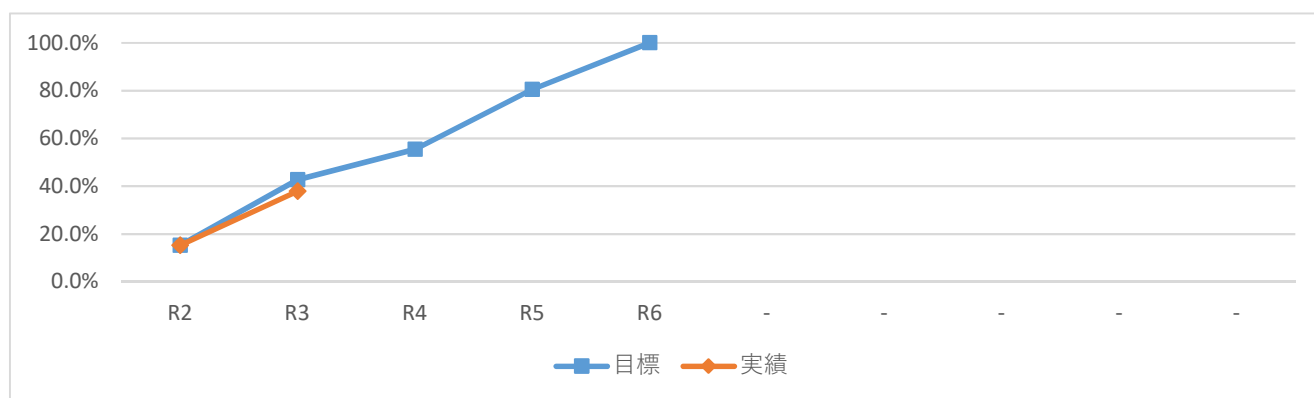
公共事業名	文化会館施設改修事業	事業期間	平成 14 ~ 年度
担当部署・係名	歴史・文化課 政策係	担当課長名	小林 茂子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	文化施設の運営・整備	

1 公共事業の基本情報

整備概要	機能維持、改善のため年次計画に沿った改修工事を実施する。				
整備の目的	文化会館の建物、設備等について改修工事を実施することにより、施設利用者に安全で快適な利用環境を提供し、より多くの市民に利用してもらう。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R 2年度	R 3年度	年度	年度	年度
工事請負費	242,485	309,004			
測量・監理等委託料	8,004	5,390			
用地購入費					
補償費					
その他事務費等		26			
計	250,489	314,420			
うち佐賀市の負担	25,089	31,520			
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					551,489
測量・監理等委託料					13,394
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					26
計					564,909
うち佐賀市の負担					56,609

2 事業の進捗率

目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
R2	R3	R4	R5	R6							
15.3%	42.8%	55.5%	80.5%	100.0%							
15.3%	37.9%										



令和4年度 公共事業進捗報告シート

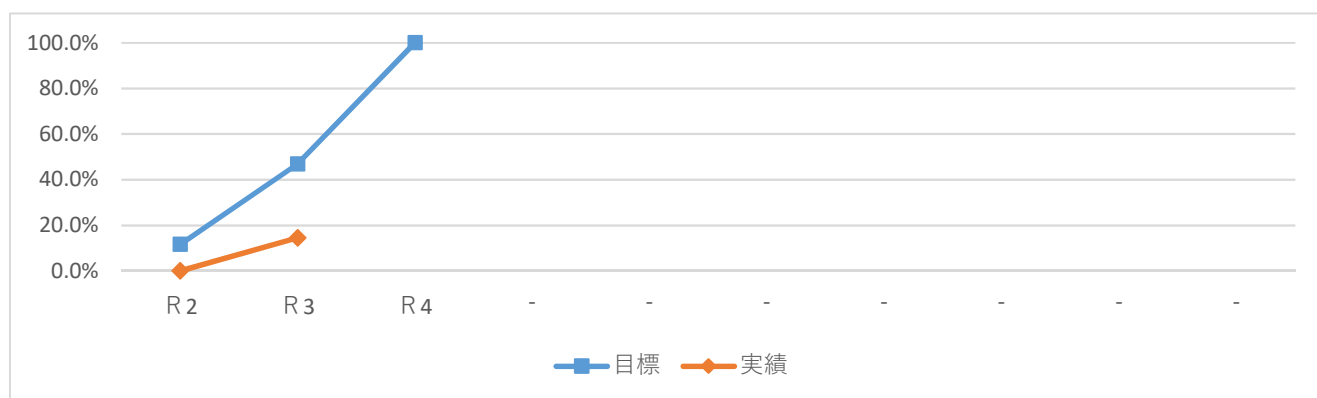
公共事業名	SAGAサンライズパーク関連文化会館整備事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 4 年度
担当部署・係名	歴史・文化課 政策係	担当課長名	小林 茂子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	文化施設の運営・整備	

1 公共事業の基本情報

整備概要	佐賀県が行うSAGAサンライズパークの整備にあわせ、文化会館周辺施設の整備（ペDESTリアンデッキ新築、ロータリー・周回道路整備、東側・西側駐車場整備、西側広場整備）を行う。				
整備の目的	文化会館周辺施設を整備することにより、施設利用者に安全で快適な利用環境を提供し、より多くの市民に利用してもらう。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	年度	年度
工事請負費					
測量・監理等委託料		152,915			
用地購入費					
補償費					
その他事務費等	23	42			
計	23	152,957			
うち佐賀市の負担	23	13,787			
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					
測量・監理等委託料					152,915
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					65
計					152,980
うち佐賀市の負担					13,810

2 事業の進捗率

目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標	目標
R2	R3	R4								
実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
11.6%	46.9%	100.0%								
0.0%	14.5%									



令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	東与賀文化ホール管理運営事業	事業期間	平成 8 ～ 年度
担当部署・係名	歴史・文化課 政策係	担当課長名	小林 茂子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	文化施設の運営・整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	東与賀文化ホールを文化情報の発信拠点として、市民の文化活動の拠り所として、多様で自主的な文化活動を推進する場とすること、市民が気軽に利用でき親しまれる施設とすることを目的として、東与賀文化ホールの管理運営を公益財団法人佐賀市文化振興財団に委託する。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	施設の貸出、使用料の徴収、文化振興事業の実施等、施設の管理運営を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	46,566	45,979			
うち佐賀市の負担額	46,565	45,978			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
施設利用者数					
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
23,346	36,000 30,147	41,000	46,000	51,000	

成果指標②					単位
市内で開催された文化芸術関連のイベントや活動に参加または自ら取り組んだ市民の割合					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
27.1	54 32.8	54	54	54	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症への対応として、令和3年10月まで収容人数を50%に制限したこと等で成果目標を達成できていない。



成果目標達成に向けた対応策等
文化振興事業については実施できたものの、新型コロナウイルス感染症による影響でホール利用の中止等があった。第三者評価委員会での「コロナ禍の中でのイベント開催は大変だと思うが、魅力ある企画を工夫してほしい。」等の意見を参考に、立地や施設面での制約もあるが、施設や地域の特性を生かした管理運営を行うことで引き続き利用されるように努めたい。

令和4年度 公共事業進捗報告シート

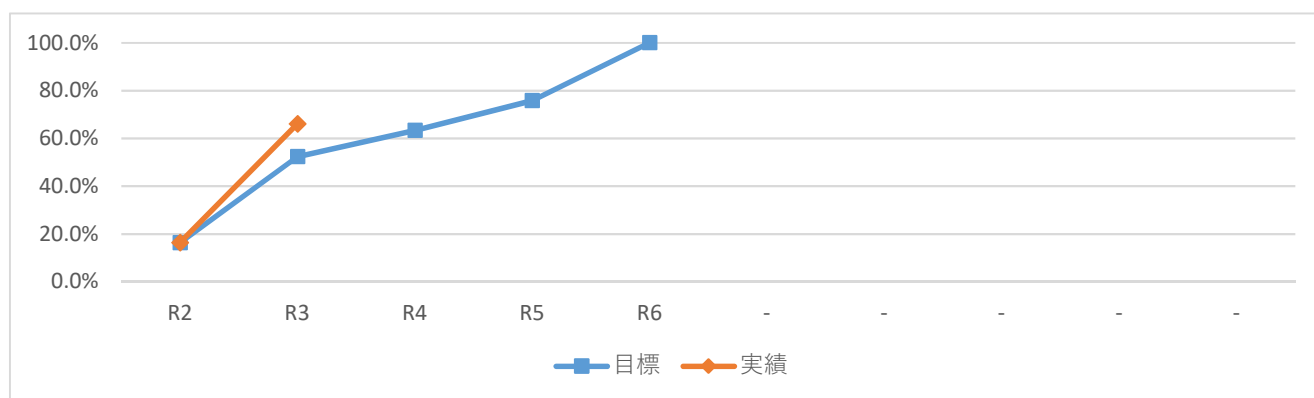
公共事業名	東与賀文化ホール改修事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	歴史・文化課 政策係	担当課長名	小林 茂子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	文化施設の運営・整備	

1 公共事業の基本情報

整備概要	機能維持、改善のため年次計画に沿った改修工事を実施する。				
整備の目的	東与賀文化ホールの建物、設備等について改修工事を実施することにより、施設利用者に安全で快適な利用環境を提供し、より多くの市民に利用してもらう。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R 2年度	R3年度	年度	年度	年度
工事請負費	35,693	76,736			
測量・監理等委託料	473	1,692			
用地購入費					
補償費					
その他事務費等	424				
計	36,590	78,428			
うち佐賀市の負担	36,590	28,235			
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					112,429
測量・監理等委託料					2,165
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					424
計					115,018
うち佐賀市の負担					64,825

2 事業の進捗率

目標 R2	目標 R3	目標 R4	目標 R5	目標 R6	目標	目標	目標	目標	目標
実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
16.4%	52.4%	63.4%	75.8%	100.0%					
16.4%	66.1%								



令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	山口亮一旧宅維持管理事業	事業期間	平成 4 ~ 年度
担当部署・係名	歴史・文化課 政策係	担当課長名	小林 茂子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	文化施設の運営・整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	明治・大正・昭和期の佐賀を代表する洋画家、山口亮一が生活した江戸時代の建築物といわれる住居の維持管理を行い、市民の文化活動の場として活用する。NPOまちづくり研究所に活用等業務を委託し、山口画伯の顕彰をはじめとする歴史・文化を題材としたイベントを開催する。※山口亮一旧宅 与賀町1368-1 月曜休館（開館時間 10時から16時まで）				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	「山口亮一旧宅ひなまつり」「青雲塾」「着付け教室」等のイベントを開催。4月末から6月にかけて木構造部の修繕作業を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,177	5,236			
うち佐賀市の負担額	4,693	5,236			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,971	3,800 3,581	3,800	3,800	3,800		

成果指標②						単位
市内で開催された文化芸術関連のイベントや活動に参加または自ら取り組んだ市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
27.1	54 32.8	54	54	54		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	木構造部の修理期間は休館していたものの、各種イベントへの参加者が多くなってきており、令和2年度よりも来館者数は増加している。

成果目標達成に向けた対応策等

小規模な施設ではあるが、これまでの事業の積み重ねにより、地域の住民や芸術関係者とのネットワークを構築することができている。今後も引き続き事業内容の充実を行い、更に来館者の増加に繋げることで、市民文化の振興を支えていきたい。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	かわそえ佐賀田園の郷ギャラリー管理運営事業	事業期間	平成 22 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	歴史・文化課 政策係	担当課長名	小林 茂子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	市民文化活動の創造	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	平成22年10月に佐賀市川副支所庁舎3階を「かわそえ佐賀田園の郷ギャラリー」に整備した。文化連盟川副支部に管理を委託することで、庁舎の空き部屋を有効活用し、地域と芸術とのつながりを深める。また、年数回の企画展を開催し、現在活躍されている画家や芸術家などの作品を紹介するとともに、市民の芸術作品を発表する場を提供する。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	川副町出身画家の常設作品展、市内の画家の企画展、市民の作品の展示等を実施した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	620	620			
うち佐賀市の負担額	620	620			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
企画展来場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4,518	5,000 5,001					

成果指標②						単位
市内で開催された文化芸術関連のイベントや活動に参加または自ら取り組んだ市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
27.1	54 32.8					

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	ギャラリー閉館前の最後の収蔵展に多くの来場者があったことにより、来場者数の目標は達成することができた。



成果目標達成に向けた対応策等
川副支所庁舎の建て替えによりギャラリースペースがなくなることから、作品を公民館や学校を含む市有施設へ移設し、多くの人の目に触れるよう展示を行う。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

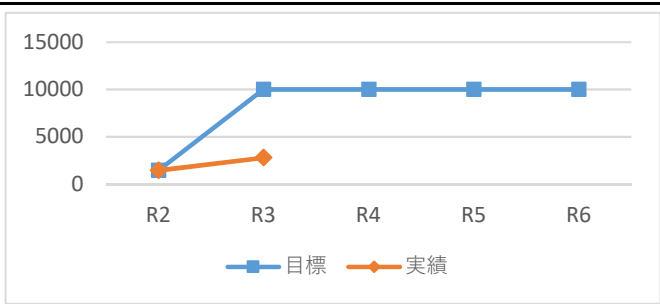
事務事業名	文化連盟補助事業	事業期間	昭和 47 ~ 年度
担当部署・係名	歴史・文化課 政策係	担当課長名	小林 茂子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	市民文化活動の創造	

1 事務事業の基本情報

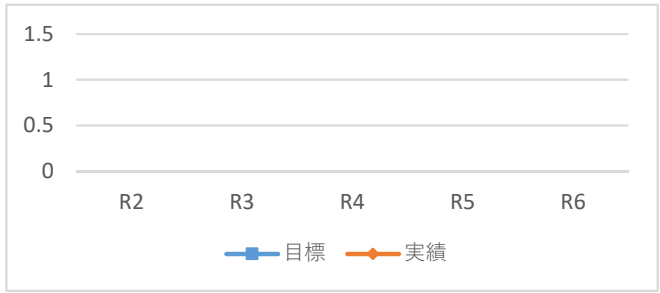
事業概要・目的	合同文化祭や文化講演会等の佐賀市文化連盟の活動を補助することで、市民が芸術文化に接する機会が多くなるように支援をし、市民の生活に癒しや潤いを与える。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	市の文化向上のために、佐賀市文化連盟へ補助を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,183	3,216			
うち佐賀市の負担額	3,183	3,216			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
来場者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
1,455	10,000 2,795	10,000	10,000	10,000	



成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症拡大のため各種イベントが中止となったため



成果目標達成に向けた対応策等
令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、文化祭等のイベントの中止が相次いだが、規模を縮小して開催するなどやり方を工夫することで市民が芸術文化に触れる機会が途絶えないよう、引き続き文化連盟に対する補助を行っていく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市民芸術祭開催事業	事業期間	平成 25 ~ 年度
担当部署・係名	歴史・文化課 政策係	担当課長名	小林 茂子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	市民文化活動の創造	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	文化会館全館を使用して、佐賀市内で活躍する文化芸術団体によるコンサートや展覧会、ワークショップ等のイベントを開催する。企画及び運営は、芸術関係者と文化施設関係者（佐賀市文化振興財団）、佐賀市の担当者で構成する佐賀市民芸術祭実行委員会が行う。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	第9回（令和3年11月13日、14日開催） 来場者数 2,763人（入場者数2,336人、動画配信同時視聴者数 427人） コロナ対策として、主ホールの収容人数を50%に制限し、入場者の事前申込及び動画配信を実施する等の対策を行った。 第6回（平成30年度）：来場者数 12,800人 第7回（平成31年度）：来場者数 12,900人 第8回（令和2年度）：来場者数 3,112人（来場者数 2,482人、動画配信同時視聴者数 630人）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	11,949	11,912			
うち佐賀市の負担額	11,949	11,912			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
3,112	4,300 2,763	10,000	10,000	10,000		

成果指標②						単位
芸術祭に良い印象を持った入場者の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
89.2	95 88.5	95	95	95		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新型コロナウイルス感染症への対応として、収容人数を50%に制限したこと等で成果目標を達成できていない。



成果目標達成に向けた対応策等
令和4年度についても引き続き感染対策を行いながら幅広い年齢層や長年参加して下さっている方に楽しんでいただけるよう、ジャンルの多様化や若年層向けの企画などを工夫していく。

令和4年度 事務事業実績報告シート

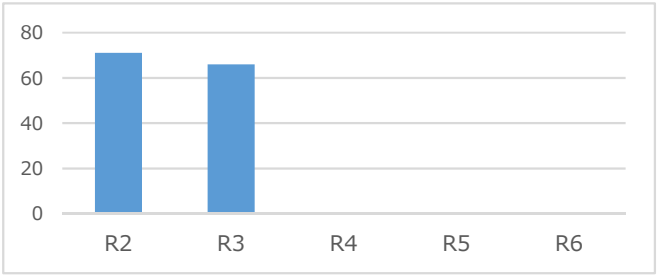
事務事業名	文化芸術活動支援事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 3 年度
担当部署・係名	歴史・文化課 政策係	担当課長名	小林 茂子
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につなげる文化の振興	
	基本事業	市民文化活動の創造	

1 事務事業の基本情報

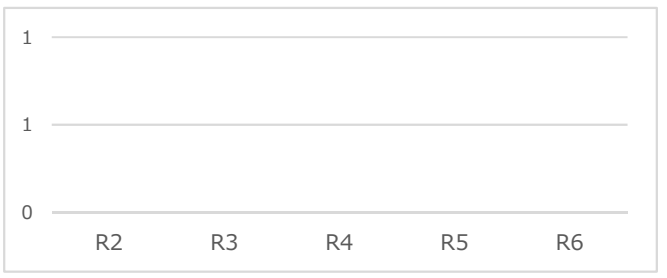
事業概要・目的	新型コロナウイルス感染症の影響で音楽、舞踊、演劇及び伝統芸能などの文化芸術に関する公演や練習等を中止・自粛せざるを得ない状況にあった佐賀市内在住または佐賀市内に活動の拠点のある文化芸術活動を行う団体または個人が、佐賀市文化会館及び佐賀市立東与賀文化ホール（以下「東与賀文化ホール」という。）で新型コロナウイルス感染症の対策を講じて文化芸術活動を再開、継続するために要する経費に対し、補助金を交付する。				
事業の対象者	佐賀市内在住または佐賀市内に活動の拠点のある文化芸術活動を行う団体または個人				
根拠法令等	文化芸術活動支援補助金交付要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業費総額	20,155	17,881			
うち佐賀市の負担額	0	0			

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
補助金を活用し文化芸術活動を継続した団体または個人					件
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
71	66				



活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けた文化芸術活動を行う個人、団体への支援であり、令和3年9月末までの利用を対象として実施した。</p>
